

釜石市

釜石市長からのメッセージ

全国の皆様には、発災直後からの物心両面にわたる御支援を賜り、改めて感謝を申し上げます。

私たちは、被災された方の最後の一人まで寄り添い、市民全員で復興を全国にお伝えしたいと思っております。復興の完遂まであと一息、東北に、岩手に目を向けていただき、寄り添い、お力添えをいただきたく切にお願いします。



釜石市長
野田 武則

1 釜石市の概要

釜石市は、岩手県の南東部、三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、東は太平洋に、西は遠野市と住田町に、南は大船渡市に、北は大槌町にそれぞれ接しています。

市の総面積は 441.42 平方キロメートルで、市域は東西 29,552 メートル、南北 31,781 メートルに及んでいます。気候は、三陸沿岸に位置しているため、海洋の影響と地理的条件から四季を通じて温暖です。

わが国近代製鉄発祥の地として、また、三陸漁場の中心港として、「鉄と魚のまち」として発展してきました。(H30.3 末現在：世帯数 16,662 世帯、人口 34,240 人)

2 復興状況

■復興公営住宅の建設状況

全体整備予定数 1,316 戸 (完了)

■住宅の再建状況

- ・既に自力で住宅再建した世帯 (1,471 世帯) のうち、約 6 割強が被災前と異なるところに再建。
- ・被災前と異なるところに再建した世帯のうち約 4 割の世帯については、市外・県外に再建している状況。
- ・面整備事業の進捗に連動し、市内での住宅の自力再建が本格化してきている。

■事業所の再建状況

- ・約 2,400 事業所 (H21 経済センサス) のうち約 6 割が被災したが、各種支援制度により事業再生が進んでおり、約 1,900 事業所 (H26 経済センサス) に回復。

■雇用状況

- ・雇用者数は概ね震災前まで回復。
- ・震災特需により有効求人倍率は継続して 1 倍を超えているが、一方では特定業種のミスマッチが発生、U I ターンの推進など労働力の確保に取り組んでいる。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

職員の心身の健康管理につきましては、法律で義務付けられた健康診断のほか、必要に応じて検診・カウンセリング等を実施し、職員の健康状況の把握、早期治療を図るとともに、様々な健康管理事業等を活用しながら、職員の疾病予防、元気回復、健康の保持増進に努めています。

また、職員が産業医と相談できる職員相談日の設置や、産業医と職員の健康管理を所管している総務課が月に 1 回情報交換をする機会を設けるなど、産業医との連携を強化して取り組んでいます。

なお、応援職員のメンタルヘルスを充実させる一環として、当該職員に帰省旅費を支給するための関係条例を整備しています。

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
民間アパート	2DK	5～8 Km	要	釜石市負担
ホテル	シングル	0.7 Km	否	釜石市負担
その他(下宿)	ワンルーム(洋室)	0.7 Km	否	釜石市負担
民間アパート	2DK	5～8 Km	要	釜石市負担

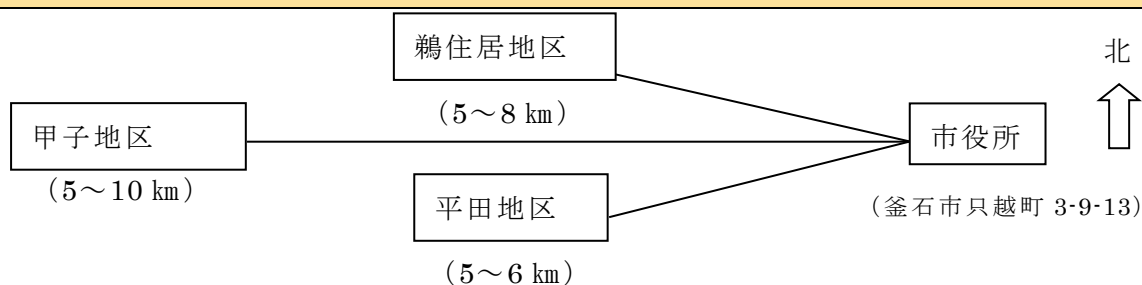
(2) 周辺環境

種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市内に点在	9:00~21:00	
ホームセンター	市役所から3km程度	7:00~21:00	
コンビニエンスストア	市内に点在	24時間	
金融機関(ATM)	市内に点在		
病院	総合病院3院、個人医院は市内に点在		

(3) 待遇(手当等)

種類	受入市町村支給可否	支給額(又は支給率)
赴任旅費	可	東京都からの場合:約15万円、 大阪府からの場合:約20万円
単身赴任手当	可	約3万円/月
災害派遣手当	可	公舎扱い:3,970円、それ以外:5,140円
通勤手当	可	
帰省旅費	可	
寒冷地手当	可	派遣元の規定による
帰任旅費	可	赴任旅費と同じ

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真(復興の状況、応援職員の勤務の様子等)

復興推進本部事務室の様子



宅地造成は完了、自力再建の加速へ



住民に寄り添って事業を進捗させます



ラグビーW杯で世界に「感謝」を発信

